

第43回

# ぴあフィルムフェスティバル

PIFF  
PIA FILM FESTIVAL



2021



2021.9.11(土) → 9.25(土)

※月曜休館



国立映画アーカイブ (京橋)  
National Film Archive of Japan



**A PFFアワード2021** 9.12 17:45~ 9.16 13:00~ 小ホール

今の私しか撮れない、手探りのセルフドキュメンタリー

『グッバイ!』31分 監督・中塚風花 (20歳/滋賀県出身/会社員)

あの母この父! どうする私? 愛憎交わる私的な記録。中塚監督のアンビバレントな感情は表現力と繋がるかも。冷たく温かく繊細で大胆。胸打つ文体。言葉にならない想いを映画の光で照らし出す。人を繋ぐものとは?

久保 渉 (ライター/編集者/パブリシスト)

廃墟の風景の中にリアルに浮かび上がる若者たちの葛藤

『五里霧中』40分 監督・曾子明 (26歳/中国出身/武蔵野美術大学 造形学部映像学科)

見る者を世界観に一気にひきこむような、廃墟の並ぶ街をバイクが駆けるオープニング。若者たちの焦りや無力感を雄弁に物語る、過去にも未来にも思える物寂しい街の風景が、真の主役だと思えるほど強烈に印象に残る。

上條葉月 (映画館スタッフ/字幕翻訳者)

ジャグリングのリズムが心地よい、個性的なパティ映画

『ROUTINE』21分 監督・宮原拓也 (28歳/東京都出身/映像作家)

ショーが始まったワクワク感を感じた! 主演のジャグリング技術もさることながら、人付き合いが上手くない登場人物達の持つ愛嬌に惹かれ、リズムとテンポの良さの中で進んでいく物語は他の作品では味わえないものがあった。

稲垣美音 (デザイナー)

【コンペティション】平均年齢25.4歳! 489本から厳選された、新しい映画の才能

**PFFアワード2021** セレクション・メンバー16名による【ココがすごい!】をご紹介します。さらなる作品情報は、公式サイトでチェック!

※上映後、来場監督を迎えてのトークを予定。年齢、職業(学校名)は応募時のものです。

**C PFFアワード2021** 9.14 14:30~ 9.19 14:30~ 小ホール

“壁当て”を通じて描かれる、野球少年の友情と葛藤

『壁当て』10分 監督・井上朝陽 (19歳/大阪府出身/ビジュアルアーツ専門学校 大阪)

壁当てという一見単調な動作が微妙なズレをもって反復されることで、主人公たちの関係性が立ち上がっていく。ありふれているようでいまここにしかない、言葉にできない感情が、寡黙なボールの響きとともにこちらに手渡される。

新谷和輝 (ラテンアメリカ映画研究者)

かつてあった時間に、ありえたかもしれない優しい物語

『みなみとあした』22分 監督・林崎征大 (22歳/東京都出身/武蔵野美術大学 造形学部映像学科)

「あの日」の前夜、私たちはなにをしていたか。気づけば取りこぼされていく時間の粒子を、映画はひとつずつ拾いあげそこに血を通わせる。他者の生を想像/創造する、フィクションの稀有な力がここには結実している。

新谷和輝 (ラテンアメリカ映画研究者)

与那国の持つ記憶や文化を、個人の経験に重ねた実験作

『ぼちらぬん』61分 監督・東盛あいか (23歳/沖縄県出身/京大芸術大学 映画学科)

自分が生まれ育った町のことをどれだけ知っているだろうか。人が文化を作り、文化が人を育てる。そう気づいた時、身の回りにあるもの全てが自分に影響を与えていることに気づかされる。つい日々を浪費しがちになっている自分に意識革命をもたらしてくれた。

田中大地 (映画館支配人)

**E PFFアワード2021** 9.11 11:30~ 9.15 16:30~ 小ホール

人との出会いで世界が変わる。キュートな現代の成長譚

『愛ちゃん物語♡』91分 監督・大野キャンディス真奈 (22歳/東京都出身/東京藝術大学 美術学部油絵科)

未だかつて味わったことのない魅惑的なリズムで刻む、とびきりキュートでちょっぴり辛辣な“愛”の物語。描かれる“家族”の形は、まさに20年代の新基準! この映画は、世界を優しく包み込み、全人類を肯定してくれるのだ!

長井 龍 (映画プロデューサー)

独特な世界なのに、なぜか懐かしいような不思議な魅力

『サイクルレース』5分 監督・倉澤紘己 (21歳/東京都出身/武蔵野美術大学 造形学部映像学科)

自転車と街灯の音が淡々と繰り返され、響き合う。双方の音が互いに少しずつ変化をつけたり、どちらか一方が消え入ったりするうちに、世界の在り方が変わって行く。どこからか亡霊の音がする。

中野弘基 (作曲家)

**F PFFアワード2021** 9.12 11:30~ 9.16 16:15~ 小ホール

ひとりひとりが政治について考える重要さを問いかける

『県民投票』92分 監督・大場丈夫 (38歳/茨城県出身/会社員)

茨城県が狂ってる...と他人事では済ませられない恐怖。日本はもう終わっているんだと突きつけられる現実。老害とバカにしている場合じゃない。怒りが沸き起こり、変える、変えなければと思ひ知らされる一本。

永井勇成 (DOKUSO映画館 マガジン編集長)

ポップな映像に凝縮された、母性をめぐる思考の旅

『Journey to the 母性の目覚め』5分 監督・岡田詩歌 (25歳/東京都出身/東京藝術大学大学院 映像研究科アニメーション専攻)

「母性」という神秘に悩める女の人生が詰まっている。切り取るシーンの着眼点にハッとさせられ続け、転換や抽象表現のユニークな演出の虜になった。誰しもが世界観に入り込んで、一緒に旅をすることになるに違いない。

雨無麻友子 (映画プロデューサー)

**B PFFアワード2021** 9.14 11:30~ 9.18 18:00~ 小ホール

些細だけれど大切な時間をワンカットで描いた野心作

『豚とふたりのコインランドリー』22分 監督・蘇 鈺淳 (26歳/台湾出身/東京藝術大学大学院 映像研究科映画専攻)

見えているのは、コインランドリーで豚のぬいぐるみと二人の男女だけ。タイトルその通り。それでも二人やその町の背景が見えてくる。そして二人の過去や未来までもが想像できる。一つの空間を越えることができるのは、まさに映画。

森川和歌子 (映画人材育成事業スタッフ)

見る側に解釈を委ねる、自由さ溢れるアニメーション

『Parallax』34分 監督・野辺ハヤト (49歳/埼玉県出身/フリーランス)

根底では単純でない不変的なものを巡り廻らせ、柔らかな質感で余白を持って描くことで、その時の自分の状況・感情でも残るものが変わり、繰り返し観たくなる。1つの群衆の中の正解にならない事は、その世界にとって不正解なのか。

稲垣美音 (デザイナー)

「巨人がいる」という男の強烈な世界観を信じるか?

『巨人の惑星』25分 監督・石川泰地 (25歳/東京都出身/フリーター)

静かに響く荘厳な音楽と低く構えたカメラの長回し。冒頭からどこか禍々しい雰囲気へ引き込まれる。アパートの一室での二人の男のたわいもない会話劇から、深い夜の闇へと観客の想像力をいざなっていくラストに注目。

久保田ゆり (PFFスタッフ)

**D PFFアワード2021** 9.15 13:30~ 9.18 15:00~ 小ホール

コッペパンさえ特別。10代の豊かな感受性が溢れだす!

『苺のジャムとマーガリン』10分 監督・宮永咲弥花 (18歳/埼玉県出身/埼玉県立芸術総合高等学校 映像芸術科)

多感な高校生たちは日常風景を特別な瞬間として切り取る...平凡なコッペパンにさえ意味を持たせるように。彼らの豊かな感受性からあふれ出る表現の瑞々しさを捉えた、若き監督の鋭い洞察に満ちた言葉と巧みな演出力!

上條葉月 (映画館スタッフ/字幕翻訳者)

印象的な映像で描き出す、芸術家たちの関係性の揺らぎ

『転回』14分 監督・岩崎敏志 (24歳/愛知県出身/フリーター)

ギャラリーと家の小空間で葛藤する映像作家カップルの嫉妬や欲望が鮮やかに描かれ、彼らの一挙一動に目が離せない。ミニマルな緊張感と、その一方で滲み出るアートに生きる人間の滑稽さの二重性が奥ゆかしい。

佐藤友則 (映画資料関連事業スタッフ)

不幸な生い立ちを乗り越えた先の、他者との共生を描く

『夜の帳につつまれて』70分 監督・松林悠依 (23歳/三重県出身/早稲田大学 人間科学部)

胸を打たれ続けた70分だった。困った人を助ける、悪いと思ったら素直に謝る。本作でそんな「当たり前」を体現するのは「弱き人々」だ。当たり前が壊れた現実で、本作は新たな世界の萌芽を映す。映画が持つ力を実感する一作だ。

木村奈緒 (フリーライター)

**G PFFアワード2021** 9.14 17:45~ 9.19 11:30~ 小ホール

高校生の感じる、何も起こらない日常の中の切実さ

『掃路』19分 監督・高橋伊吹 (18歳/愛知県出身/瑞陵高校)

感覚的なセンスなのか、はたまた自覚的に作られたものなのか。決して劇的な出来事を描いているわけではない。にも関わらず、いや、だからこそ、画面から溢れる声なき叫びと並々ならぬ切実に心がぎゅっと掴まれた。

加藤綾佳 (映画監督)

行き交う人々、交差する時間。そして映画は家の外へ!

『距てて』78分 監督・加藤紗希 (31歳/愛知県出身/俳優 振付師)

家の中と外を行き来するだけで、日常空間を劇的に変容させてしまう...だけにとどまらず、そこに歴史(時間)を持ち込んで、「やばいやばい!」「すげー!」と言いながら、彼女たちはこの世界の新しい地平を目指す。

五十嵐耕平 (映画監督)

**映画祭最終日、受賞作上映あり!**

9.25 12:00~ 準グランプリ受賞作  
9.25 16:00~ グランプリ受賞作

※上映作品は9.24に公式サイトで発表します。



Opening 第27回PFFスカラシップ作品 完成披露上映

PFFが企画、製作、公開までトータルで映画をプロデュース

Closing 熊坂出監督作 プレミア上映 公開迫る最新作を世界初上映



※工藤梨穂監督&キャストによるトークを予定 9.11 14:30~  
 青年たちは「世界」を鳴らす。どこへでも行けると信じて  
 『裸足で鳴らしてみせろ』2021年/カラー/128分  
 監督 脚本 工藤梨穂  
 出演 佐々木詩音、調訪珠理、伊藤歌歩、甲本雅裕、風吹ジュン  
 「代わりに世界を見てきてほしい」という盲目の養母ミドリのためにナオミとマキ、二人の青年はレコーダーを手に「世界旅行」へ。旅の記録をテープに刻みながら彼らは次第に惹かれ合うが、「触れられない」二人が行き着く果ては…  
 ©PFFパートナーズ=びあ、ホノロ、日活/一般社団法人PFF



※熊坂出監督&キャストによるトークを予定 9.23 17:00~  
 女子高生が SNS でニッポンを世直し!? 前代未聞の問題作!  
 『プリテンダーズ』2021年/カラー/117分  
 監督 脚本 編集 熊坂出  
 出演 小野花梨、見上愛、古館寛治  
 「右にならえ」「空気を読め」を美德とするニッポン社会に、二人の女子高生が物申す!? 武器はSNS。次々と型破りなドッキリを仕掛け、フィクションの力で世界を変えようと突き進む緊張と興奮のシスターフッド作品。  
 ©2021「プリテンダーズ」製作委員会

ヴェネチア、ベルリンも注目。世界初の大特集!  
**ナワポン・タムロンラタナリット監督特集**  
 ~タイからの新しい風~  
 Nawapol Thamrongrattanarit

※残念ながら来日不可能のため、各プログラム上映前に、監督による解説も入ったビデオメッセージを上映します! さらに条件が合えば、オンライントークも実現!



デビュー10年で、7本もの長編映画を発表。ナワポン監督って何がすごい?  
 アピチャポンの世界的なブレイク以来、タイのアート系監督が注目されている。ナワポンの特徴はズバリ2つ。まずは「少女の時間の有限性」。実際に少女が主人公のもの以外でも、ナワポン映画のヒロインたちは清楚で、優さを醸し出している。そんな優いガール系魅力が満載。もう一つは「メディアへのメタ言及」。ナワポンは映画や写真やSNS等、現代メディアに自覚的。また形式もフィクションとドキュメンタリーを行き来し、映像と文字を自在に駆使した虚実交錯の中で、抒情かつ詩的にテーマを語っていく。まだ37歳、これから注目だ!(文:作品紹介/夏目深雪)

後援:タイ王国大使館  
 字幕協力:大阪アジア映画祭、東京国際映画祭



『マリィ・イズ・ハッピー』 9.14 12:00~ 9.18 11:30~  
 Mary Is Happy, Mary Is Happy  
 2013年/カラー/127分  
 400を超えるツイートを女子高生マリィと親友スリのガール系な生活を牽引していく。不思議なリズムとツイートの女子高生のリアルを形作っていく様が見事。ヴェネチア国際映画祭に出品された。



『ハッピー・オールド・イヤー』 9.17 14:30~ 9.23 12:30~  
 Happy Old Year  
 2019年/カラー/113分 ※音楽のジャテ・ブ・ラ・ロン・ジャイ氏によるトークを予定  
 大阪アジア映画祭でグランプリを受賞したナワポンの最新作。モノを毅然と捨てるヒロインが過去や情に絡め取られていく様が冷徹に描かれ、クール。『パッド・ジーニアス』のチュティモン主演。  
 ©2019 GDH 559 Co., Ltd.



『あの店長』 9.14 15:15~ 9.21 12:15~  
 The Master  
 2014年/カラー/80分  
 世界の秀作を集めた伝説の海賊版ビデオショップについて、関係者やタイ・ニューウェーブを牽引した監督たちが証言するドキュメンタリー。映画愛と海賊版問題からタイのある時代が浮かび上がる。



『ハッピー・オールド・フィルムズ1』 9.14 18:00~ 9.16 15:30~  
 Happy Old Films 1  
 2010~2011年/カラー/96分  
 ビターで奇妙な味わいの自選中編3本。[MAYTHAWBEE] (11年)は、生徒会長候補の女生徒に関する毀誉褒貶が、インタビューやSNSで繰り広げられる。翌年初長編を撮るナワポンだが、手法は既に際立っている。



『フリーランス』 9.15 11:30~ 9.19 17:30~  
 Heart Attack aka: Freelance  
 2015年/カラー/127分  
 フリーランスのデザイナー・ユンは徹夜仕事が続く、体じゅうに湿疹ができてしまう。病院に行くが新人女医が診察してくれ……。タイ・アカデミー賞8冠受賞のテンポのいいブラック・ラブコメディ。



『ハッピー・オールド・フィルムズ2』 9.16 18:00~ 9.22 11:30~  
 Happy Old Films 2  
 2011~2018年/カラー/86分  
 ナワポン自選短編集。バンコクのデパート、セントラル・エンパシーのCMは、水原希子のアジア的な美しさとアシスタントのインタンの少女の語りの初々しさが相俟って、ナワポン的世界を作り上げる。



『ダイ・トゥモロー』 9.15 14:45~ 9.21 14:45~  
 Die Tomorrow  
 2017年/カラー/75分  
 ベルリン国際映画祭に出品のナワポン長編5作目。死の前日を俳優が演じるフィクション部分と、市井の人々の死に関するインタビューが交錯。「時間」の有限/無限に関するナワポンの映像遊戯。

第43回びあフィルムフェスティバル タイムテーブル

# Time Table

※開場時間は、上映時間の15分前。各日ごとに上映開始時間が異なりますので、ご注意ください。  
 ※やむを得ない事情により、プログラムおよびゲストが予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

『36のシーン』 9.12 14:30~ 9.17 12:00~  
 36  
 2012年/カラー/68分  
 4映画製作現場を舞台に、36のワンショットによって記録=記憶の旅に誘われる。メディアへのメタ言説と詩情に溢れるナワポン節は初長編で既に健在。釜山国際映画祭ニューレナツ部門最高賞受賞。  
 ©Very Sad Pictures

『BNK48: Girls Don't Cry』 9.16 12:30~ 9.22 14:00~  
 BNK48: Girls Don't Cry  
 2018年/カラー/108分  
 AKB48の姉妹グループBNK48のドキュメンタリー。メンバーと競争することの難しさなどの主にインタビューで構成され、若い女性の言葉の洪水のところどころだが、ラストにもナワポンらしい仕掛けがある。  
 ©2018 BNK48 Office & Salmon House Co., Ltd. All Right Reserved.

9.11 小ホール  
 11:30- PFFアワード2021  
 『愛ちゃん物語』『サイクルレース』  
 14:30- 【オープニング】  
 第27回PFFスカラシップ作品 完成披露上映  
 『裸足で鳴らしてみせろ』  
 18:20-  
 祝! フィルマドリッド最高賞 受賞記念上映  
 『おぼけ』

# Invited Works

【招待作品部門】 今年も「現在」「過去」「未来」のすべてを俯瞰した、PFFならではのプログラムが実現しました。驚きの13日間をお約束します。映画を観る人も、つくる人も。

森田芳光70祭 ~伝えたい、モリタを~  
 35mmフィルム上映+旬の監督たちが語る! 大の森田ファンであるゲスト5名をお招きし、<常に新しい>森田マジックを解きあかし、次世代へと繋ぐ時間をつくります。

「ゆかりの映画館で森田芳光の映画人生を迎える特集上映の旅」上映会場  
 9/4[土]~10[金] ユーロスペース、10/2[土]~ 新文芸堂、11/3[水・祝] 飯田橋ギンレイホール  
 詳しくは公式サイトをチェック! https://tarimo70.com/

『とどろきに死す』 9.12 12:00~ 小ホール  
 1984年/104分 35mm  
 出演:沢田研二、杉浦直樹、樋口可南子  
 ©1984 ハルシナイマ  
 トーク: 富永昌敬 (映画監督)

『それから』 9.12 16:00~ 小ホール  
 1985年/130分 35mm  
 出演:松田優作、藤谷美和子、小林 薫  
 ©東映  
 トーク: 沖田修一 (映画監督)

『メイン・テーマ』 9.19 17:00~ 小ホール  
 1984年/101分 35mm  
 出演:薬師丸ひろ子、野村宏伸、桃井かおり  
 ©KADOKAWA1984  
 トーク: 松居大悟 (映画監督)

『39-刑法第三十九条-』 9.19 12:30~ 小ホール  
 1999年/133分 35mm  
 出演:鈴木京香、堤 真一、岸部一徳  
 ©光栄(インターナショナル)/松竹  
 トーク: 石川 慶 (映画監督) & 向井康介 (脚本家)

※さらに、渋谷ユーロスペースで、森田監督が演劇人たちを生々しく記録した「劇的ドキュメント レポート78~79」を、9/8[水]に上映します!

映画と音楽シリーズ「ブラック&ブラック」  
 反アパルトヘイトで30年以上の亡命生活を送りながら、唄い続けたミアム・マケバと、ご存知ファンクの帝王ジェームス・ブラウンのドキュメンタリーを、バラカン氏の解説と共に大スクリーンで堪能しよう!

ナビゲーター&トーク:ピーター・バラカン  
 ※9.15※、22※に上映後トークを予定  
 17※はトークなし。

ミカ・カウリスマキ、未公開ドキュメンタリー  
 日本初上映 9.15 18:00~ トークあり 9.17 18:30~  
 『ミカ・カウリスマキ/ママ・アフリカ ミリアム・マケバ』  
 Mama Africa  
 2011年/フィンランド/カラー/90分 監督:ミカ・カウリスマキ

時代の熱気が溢れる、JBDドキュメンタリーの決定版!  
 『ミスター・ダイナマイト:ファンクの帝王ジェームス・ブラウン』  
 Mr. Dynamite: The Rise of James Brown  
 2014年/アメリカ/カラー/115分 監督:アレックス・ギブニー ©2014 Mr. Dynamite LLC.

PFFスペシャル映画講座  
 上映+新鮮な視点のトーク=映画再発見!  
 明日からの映画づくりが変わる!? 創作者必見の時間です。

「越境するインディペンデント映画 ~“越境シネマLABO”はじめます~」  
 9.18 14:00~ 小ホール ※途中休憩あり

「安倍公房と勅使河原宏」 9.23 11:30~ 小ホール  
 講師:石井岳龍 (映画監督) 上映  
 安倍公房の「箱男」映画化にむけ作家自身と交流のあった石井岳龍監督にとって、勅使河原宏監督は特別な存在であった。当時の思い出交えながら、安倍公房の世界、その映画化について、観る度に面白さが増すという「砂の女」を上映し、お話しください。  
 『砂の女』1964年/日本/白黒/147分 35mm 監督:勅使河原宏

講師:藤元明緒 (映画監督) × 渡邊一孝 (映画プロデューサー)  
 「インディペンデントで映画をつくり続ける」この課題に果敢と取り組む監督とプロデューサーを、その方法を開示いただく貴重な時間。世界で話題の2作品を上映し、国際映画祭をフル活用する具体的なノウハウを語るみっちり濃厚な時間には是非!  
 『僕の帰る場所』2017年/日本・ベトナム/カラー/98分 監督:藤元明緒 ©E.N.K.K.  
 『海辺の彼女たち』2020年/日本・ベトナム/カラー/88分 脚本・監督・編集:藤元明緒 ©2020 E.N.K.K./ever rolling films

「勅使河原宏の音と空間」 9.23 15:45~ 小ホール  
 講師:長嵩寛幸 (音楽家) × 松井 茂 (詩人) 上映  
 勅使河原宏の映画といえば、武満徹の音楽。武満徹といえば、録音技師の奥山重之助が欠かせない。長嵩寛幸氏が奥山氏へのインタビューをなされた松井茂氏を迎え、「他人の顔」をテキストに、驚くほど深く楽しく勅使河原宏の音と空間を追及する予定。  
 『他人の顔』1966年/日本/白黒/121分 35mm 監督:勅使河原宏

「コロナ禍の卒業映画制作」 9.11 14:00~ 小ホール 上映  
 講師:廣原 暁 (映画監督) × 諏訪 敦彦 (映画監督) 上映  
 東京藝術大学大学院映像研究科では、コロナの影響により従来の卒業制作が出来なくなった。では、どうしたのか? その結果を示す作品を上映後、監督を務めた廣原氏と同校教授・諏訪敦彦氏を迎え「卒業制作について改めて考える時間」となるだろう。  
 『藝大の怪談』2021年/日本/カラー/65分 監督:廣原 暁 ©2021 東京藝術大学大学院映像研究科

「タイトルと内容のギャップに驚愕!加藤泰の傑作」 9.21 17:15~ 上映  
 講師:横山百合子 (国立歴史民俗博物館 名誉教授) 上映  
 ローアングルで知られる名匠・加藤泰監督はフェミニスト。と思わせる作品のひとつ「骨までしゃぶる」を上映し、昨今大変な評判を呼んだ「性差の日本史」企画・監修の横山百合子氏を迎え、遊郭や売春の歴史と映画の背景を伺い、一層この傑作を楽しむ時間。女子高生必見!  
 『骨までしゃぶる』1966年/日本/白黒/88分 35mm 監督:加藤 泰

祝! フィルマドリッド最高賞 受賞記念上映  
 ※中尾広道監督によるトークを予定 9.11 18:20~  
 『おぼけ』2019年/カラー/62分 監督 出演 中尾広道  
 声の出演:金満博(小林圭輔、友保幸平)  
 スペインの映画祭で喝采を浴びた「おぼけ」が、国立映画アーカイブに帰ってくる! オンライン配信は行わず、スクリーンでの上映にこだわり続けた、中尾監督の想いが詰まったPFFアワード2019グランプリ受賞作。どうぞお見逃しなく。

|      |      |  |   |  |
|------|------|--|---|--|
| 9.11 | 小ホール | 11:30- PFFアワード2021<br>『愛ちゃん物語』『サイクルレース』                          | 14:30- 【オープニング】<br>第27回PFFスカラシップ作品 完成披露上映<br>『裸足で鳴らしてみせろ』 | 18:20-<br>祝! フィルマドリッド最高賞 受賞記念上映<br>『おぼけ』                             |
| 9.12 | 小ホール | 11:30- PFFアワード2021<br>『県民投票』<br>『Journey to the母性の目覚め』           | 14:30-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『36のシーン』                 | 17:45- PFFアワード2021<br>祝! 『グッバイ!』『五里霧中』『ROUTINE』                      |
| 9.13 | 休館日  |  |   |  |
| 9.14 | 小ホール | 12:00-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『マリィ・イズ・ハッピー』                   | 15:15-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『あの店長』                   | 18:00-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『ハッピー・オールド・フィルムズ1』                  |
| 9.15 | 小ホール | 11:30- PFFアワード2021<br>『豚とふたりのコインランドリー』『Parallax』『巨人の惑星』          | 14:30- PFFアワード2021<br>『壁当て』『みなみとあした』『ぼちらぬん』               | 17:45- PFFアワード2021<br>『帰路』『距てて』                                      |
| 9.16 | 小ホール | 11:30-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『フリーランス』                        | 14:45-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『ダイ・トゥモロー』               | 18:00- 日本初上映<br>映画と音楽シリーズ「ブラック&ブラック」<br>『ミカ・カウリスマキ/ママ・アフリカ ミリアム・マケバ』 |
| 9.17 | 小ホール | 13:30- PFFアワード2021<br>『薔のジャムとマーガリン』『転回』『夜の帳につつまれて』               | 16:30- PFFアワード2021<br>『愛ちゃん物語』『サイクルレース』                   |  |
| 9.18 | 小ホール | 12:30-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『BNK48: Girls Don't Cry』        | 15:30-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『ハッピー・オールド・フィルムズ1』       | 18:00-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『ハッピー・オールド・フィルムズ2』                  |
| 9.19 | 小ホール | 13:00- PFFアワード2021<br>『グッバイ!』『五里霧中』『ROUTINE』                     | 16:15- PFFアワード2021<br>『県民投票』<br>『Journey to the母性の目覚め』    |  |
| 9.20 | 休館日  |  |   |  |
| 9.21 | 小ホール | 12:00-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『36のシーン』                        | 14:30-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『ハッピー・オールド・イヤー』          | 18:30- 日本初上映<br>映画と音楽シリーズ「ブラック&ブラック」<br>『ミカ・カウリスマキ/ママ・アフリカ ミリアム・マケバ』 |
| 9.22 | 小ホール | 11:30-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『マリィ・イズ・ハッピー』                   | 15:00- PFFアワード2021<br>『転回』『夜の帳につつまれて』                     | 18:00- PFFアワード2021<br>『豚とふたりのコインランドリー』『Parallax』『巨人の惑星』              |
| 9.23 | 小ホール | 11:30- PFFアワード2021<br>『帰路』『距てて』                                  | 14:30- PFFアワード2021<br>『壁当て』『みなみとあした』『ぼちらぬん』               | 17:30-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『フリーランス』                            |
| 9.24 | 小ホール | 12:30-<br>森田芳光70祭 ~伝えたい、モリタを~<br>『39 刑法第三十九条』<br>トーク:石川 慶 & 向井康介 | 17:00-<br>森田芳光70祭 ~伝えたい、モリタを~<br>『メイン・テーマ』<br>トーク:松居大悟    |  |
| 9.25 | 小ホール | 12:15-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『あの店長』                          | 14:45-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『ダイ・トゥモロー』               | 17:15-<br>PFFスペシャル映画講座<br>『骨までしゃぶる』<br>講師:横山百合子                      |
| 9.26 | 小ホール | 11:30-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『ハッピー・オールド・フィルムズ2』              | 14:00-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『BNK48: Girls Don't Cry』 | 17:30-<br>映画と音楽シリーズ「ブラック&ブラック」<br>『ミスター・ダイナマイト:ファンクの帝王ジェームス・ブラウン』    |
| 9.27 | 小ホール | 12:30-<br>ナワポン・タムロンラタナリット監督特集<br>『ハッピー・オールド・イヤー』                 | 17:00- 【クロージング】<br>熊坂出監督作 プレミア上映<br>『プリテンダーズ』             |  |
| 9.28 | 小ホール | 11:30-<br>PFFスペシャル映画講座<br>『砂の女』<br>講師:石井岳龍                       | 15:45-<br>PFFスペシャル映画講座<br>『他人の顔』<br>講師:長嵩寛幸×松井 茂          |  |
| 9.29 | 小ホール | PFFアワード2021 表彰式<br>※チケットの発売はありません。                               |   |  |
| 9.30 | 小ホール | 12:00-<br>PFFアワード2021 準グランプリ受賞作品上映                               | 16:00-<br>PFFアワード2021 グランプリ受賞作品上映                         |  |

第43回ぴあフィルムフェスティバル チケット料金表

# Ticket

8月28日(土)午前10時より、チケットぴあにて発売!

【Pコード:551-641】 チケットは各上映の1時間前までにご購入ください。  
会場でのチケット販売(当日券)はありません。

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、定員数は公式サイトにてご案内します。

| 【全席指定席】                  | 一般/65歳以上 | 高大生  | 小中生/障がい者<br>キャンパスメンバーズ |
|--------------------------|----------|------|------------------------|
| ●PFFアワード2021             | ¥1,000   | ¥700 | ¥500                   |
| ●森田芳光70祭~伝えたい、モリタを~      |          |      |                        |
| ●PFFスペシャル映画講座            |          |      |                        |
| ●祝!フィルマドリッド最高賞『おばけ』      | ¥1,500   |      |                        |
| ●PFFスカラシップ作品『裸足で鳴らしてみせろ』 |          |      |                        |
| ●熊坂出監督作『プリテンダーズ』         |          |      |                        |
| ●ナワボン・タムロンラタナリット監督特集     |          |      |                        |
| ●ピーター・バラカン/ブラック&ブラック     |          |      |                        |

※入場時、映画祭カタログを無料でプレゼントします! (金額は税込)

※学生、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ、障がい者の方は、  
ホール入場時に証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。  
(障がい者の付添者は原則1名まで障がい者と同料金)

【チケットぴあ 購入方法】

- ①インターネット購入【座席選択できる】
- ②セブン-イレブン【座席選択できない】
- ③電話購入(0570-02-9999)【座席選択できない】



※発券手数料、システム手数料は、一切掛かりません。  
※チケットは会場では発券できません。  
必ず各コンビニで発券して会場までお越しください。

## 国立映画アーカイブ National Film Archive of Japan

東京都中央区京橋3-7-6  
会場アクセス ▶銀座線「京橋駅」1番出口より昭和通り方向へ徒歩1分  
▶浅草線「宝町駅」A4出口より中央通り方向へ徒歩1分 ▶有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩5分 ▶JR「東京駅」八重洲南口より徒歩10分

マスク着用のない方の入館をお断りします。来館者全員に検温を行います。37.5度以上の方は入館をお断りします。

(以下に該当する方は、ご来館をお控えください)

新型コロナウイルス感染症について、陽性判定、あるいは医師に自宅待機指示を受けている方 / 検査結果待ち、あるいは体調不良の諸症状がある方 / ご自身の身近に感染の疑いがある方 / 過去14日以内に、陽性の方と濃厚接触がある方、感染が拡大している国・地域への訪問歴がある方。

国内最大級のインディーズ映画配信サイト



「観客賞」にネット投票可能!

## 「PFFアワード2021」

DOKUSO映画館とU-NEXTで、10.31@までオンライン配信!

【オンライン料金】1作品:300円(税込) / 入選18作品観放題パック:2,500円(税込)

※観放題パックはDOKUSO映画館のみ。

210,000本以上が見放題!



「U-NEXTポイント」で視聴可!

【主催】



一般社団法人PFF



国立映画アーカイブ  
National Film Archive of Japan



公益財団法人  
川喜多記念映画文化財団



公益財団法人ユニジャパン

【オフィシャルパートナー】



tokyo/osaka/nagoya



Hakuohdo DY  
media partners

【特別支援】



一般社団法人  
日本映画製作者連盟

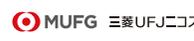
【オフィシャルTOPサポーター】



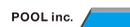
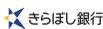
【オフィシャルサポーター】



【特別協賛】



【協賛】



【賛助】

アテネ・フランセ文化事業(株) / (株)伊藤園 / エイベックス・ピクチャーズ(株) / KANDO(株) / ギャガ(株) / キングレコード(株) / クエストルーム(株) / (有)スタンス・カンパニー / チケットぴあ九州(株) / チケットぴあ名古屋(株) / (株)夏への扉 / (株)PIVOT / フィルミネーション(株) / (有)プレス / (株)みずほ銀行 / (株)ロボット

【後援】

特定非営利活動法人 映像産業振興機構 (VIPO) / 協同組合 日本映画監督協会

文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業